

2025年3月期 決算説明会

2025年5月13日

株式会社 **ハイマックス**

代表取締役社長 中島 太

目次

- 1 2025年3月期 決算概要（連結）
- 2 中期経営計画『NEXT C⁴』の状況
(2023～2025年度)
- 3 2026年3月期 業績予想（連結）

～Appendix～
(四半期推移)

1 2025年3月期 決算概要（連結）

損益計算書 (連結)

- **売上高** : ビジネス領域を拡大した新規プロジェクトの立ち上げに注力
(4.1%増) 金融向けのDX案件が拡大
- **営業利益** : 売価改善及び生産性向上に取り組む
(5.1%増) 売上高営業利益率 10.0%

(百万円)

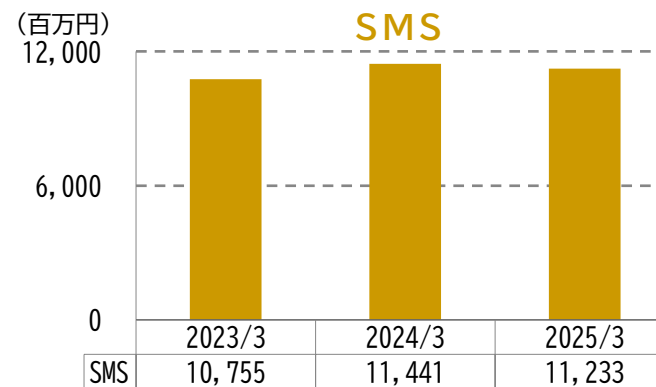
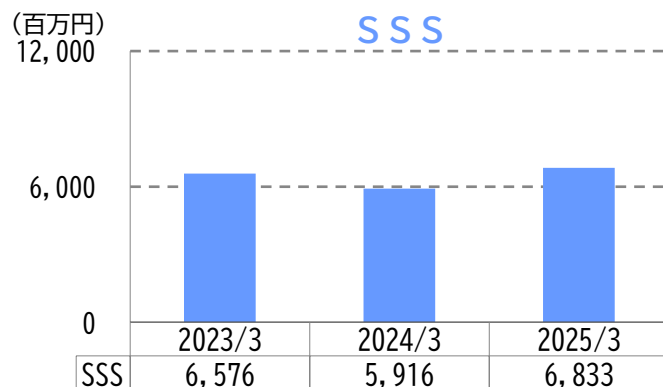
	2024/3期		2025/3期		比較増減	
	(構成比)		(構成比)		(額)	(率)
売上高	17,357	100.0%	18,066	100.0%	+709	+4.1%
売上原価	13,819	79.6%	14,423	79.8%	+604	+4.4%
売上総利益	3,537	20.4%	3,643	20.2%	+106	+3.0%
販管費	1,818	10.5%	1,837	10.2%	+18	+1.0%
営業利益	1,719	9.9%	1,807	10.0%	+88	+5.1%
経常利益	1,730	10.0%	1,821	10.1%	+91	+5.3%
親会社株主に 帰属する 当期純利益	1,184	6.8%	1,293	7.2%	+109	+9.2%
1株当たり 当期純利益	101円89銭	-	111円59銭	-	+9円70銭	-

サービス分野別売上高 (連結)

- **SSS** : 銀行及び保険並びにクレジットのDX案件が拡大
- **SMS** : クレジット向けを中心にDX案件が拡大の一方、証券及び流通向けで一部案件が収束

(百万円)

サービス分野	2024/3期	2025/3期	比較増減	
	(構成比)	(構成比)	(額)	(率)
■ SSS システム・ソリューションサービス	5,916 (34.1%)	6,833 (37.8%)	+918	+15.5%
■ SMS システム・メンテナンスサービス	11,441 (65.9%)	11,233 (62.2%)	▲208	▲1.8%
合 計	17,357	18,066	+709	+4.1%



業種別売上高（連結）

（百万円）

業種	2024/3期 (構成比)	2025/3期 (構成比)	増減率
金融 小計	11,545 (66.5%)	12,098 (67.0%)	+4.8%
■ 銀行	2,545	2,689	+5.6%
■ 証券	1,145	890	▲22.3%
■ 保険	5,716	5,831	+2.0%
■ クレジット	2,138	2,689	+25.7%
非金融 小計	5,812 (33.5%)	5,968 (33.0%)	+2.7%
■ 公共	1,355	1,488	+9.8%
■ 流通	1,266	1,111	▲12.2%
■ その他	3,191	3,368	+5.6%
合計	17,357	18,066	+4.1%

金融向け

- 銀行
 - ・ ネット銀行のDX案件の拡大
- 証券
 - ・ ネット証券案件の一部収束
- 保険
 - ・ 生保のDX案件の拡大
- クレジット
 - ・ 流通系カード案件の拡大
 - ・ DX案件の拡大

非金融向け

- 公共
 - ・ 官公庁案件の拡大
- 流通
 - ・ 大手スーパー案件の一部収束
- その他
 - ・ 陸運業界向けDX案件の拡大
 - ・ 公営スポーツ案件の拡大

顧客別売上高（連結）

（百万円）

業 種	2024/3期 （構成比）	2025/3期 （構成比）	増 減 率
S I e r 小計	12,156 (70.0%)	12,717 (70.4%)	+4.6%
■ 金 融	7,930	8,423	+6.2%
■ 非金融	4,226	4,294	+1.6%
エンド ユーザー小計	5,201 (30.0%)	5,349 (29.6%)	+2.9%
■ 金 融	3,615	3,675	+1.7%
■ 非金融	1,586	1,674	+5.6%
合 計	17,357	18,066	+4.1%

S I e r

■ 金 融
・銀行・生保及びクレジットのDX案件の拡大

■ 非金融
・官公庁・陸運・公営スポーツ案件の拡大
・大手スーパー案件の一部収束

エンド
ユーザー

■ 金 融
・クレジットのDX案件の拡大
・ネット証券案件の一部収束

■ 非金融
・新規顧客（専門商社系）のDX案件が拡大

営業利益分析（連結）

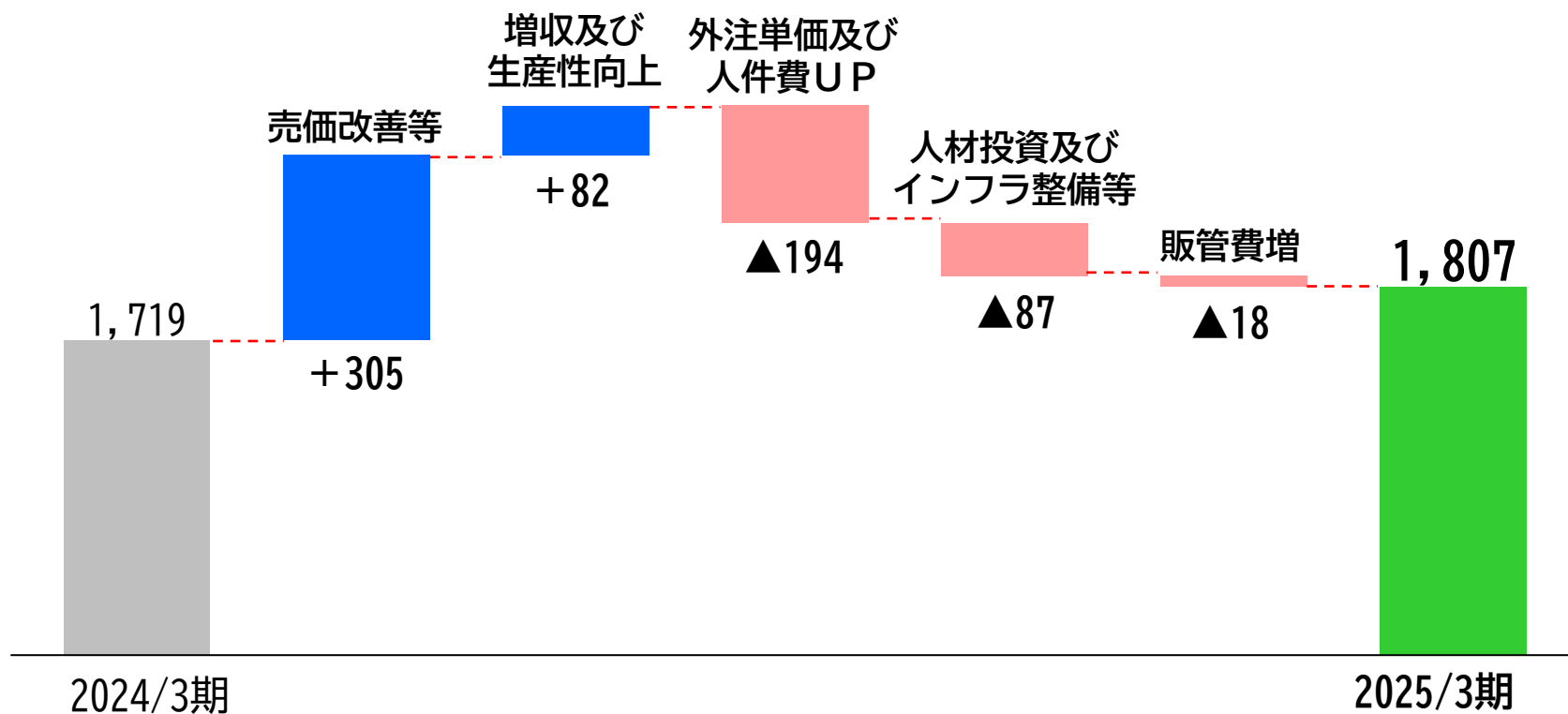
<利益の増加要因>

- 売価改善等 +305 百万円
- 増収及び生産性向上 +82 百万円

<利益の減少要因>

- 外注単価及び人件費UP ▲194 百万円
- 人材投資及びインフラ整備等 ▲87 百万円
- 販管費の増加（人件費・セキュリティ強化等） ▲18 百万円

（百万円）



受注高及び受注残高の状況（連結）

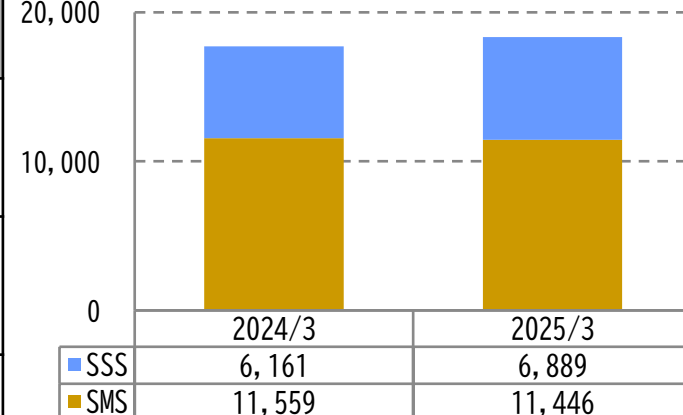
■ 新規プロジェクト立ち上げに注力し、システム・ソリューションサービス増加

受注高

(百万円)

(百万円)

サービス分野	2024/3期 (構成比)	2025/3期 (構成比)	増減率
■ SSS システム・ ソリューションサービス	6,161 (34.8%)	6,889 (37.6%)	+11.8%
■ SMS システム・ メンテナンスサービス	11,559 (65.2%)	11,446 (62.4%)	▲1.0%
合計	17,719	18,335	+3.5%

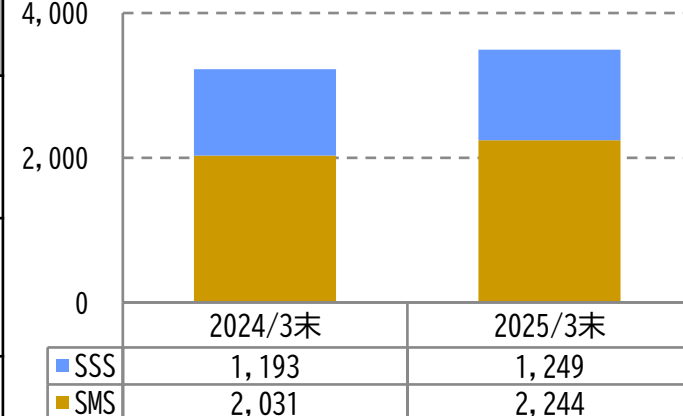


受注残高

(百万円)

(百万円)

サービス分野	2024/3期 (構成比)	2025/3期 (構成比)	増減率
■ SSS システム・ ソリューションサービス	1,193 (37.0%)	1,249 (35.7%)	+4.7%
■ SMS システム・ メンテナンスサービス	2,031 (63.0%)	2,244 (64.3%)	+10.5%
合計	3,223	3,492	+8.3%

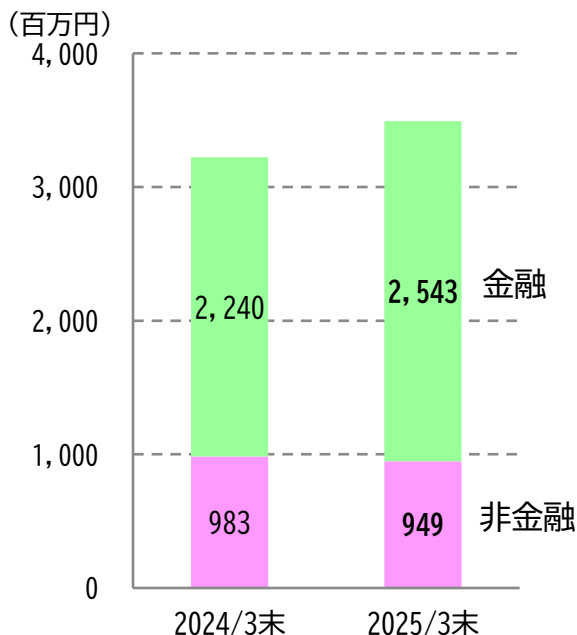


受注残高の内訳 (連結)

■ 金融 / エンドユーザー / DXの案件が増加に寄与

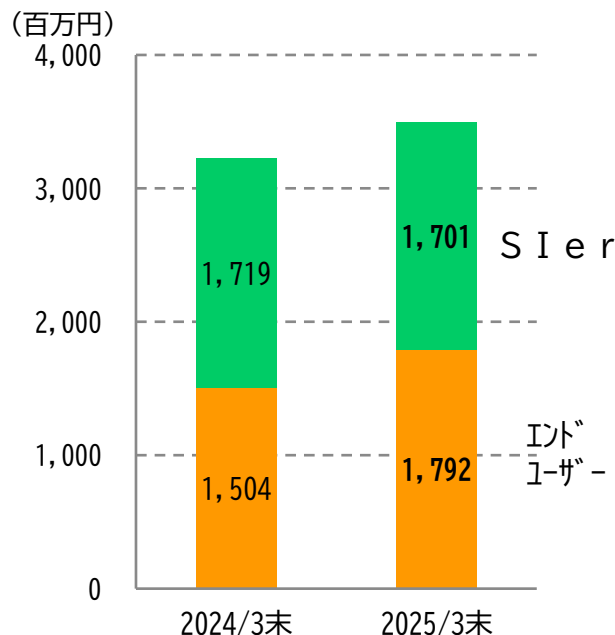
業種別

■ 金融向け +303 百万円
 ■ 非金融向け ▲34 百万円



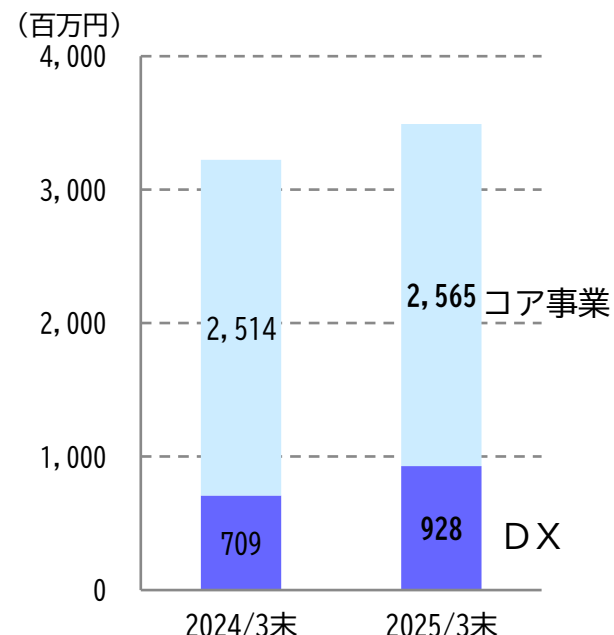
顧客分野別

■ S I e r ▲19 百万円
 ■ イﾝﾄﾞ ﾕｰ ﾈﾞｰ +288 百万円



コア事業・DX別

■ コア事業 +50 百万円
 ■ DX +219 百万円



業績の推移 (連結)

- CAPM 5~6%、
インプライド株主資本コスト 8~9%弱 に対し、 ROE 11.4% 確保

(百万円)

	2021/3	2022/3	2023/3	2024/3	2025/3
売上高	15,431	16,681	17,331	17,357	18,066
(前期比)	0.6%	8.1%	3.9%	0.1%	4.1%
(利益率)	8.9%	10.3%	10.6%	9.9%	10.0%
営業利益	1,367	1,716	1,833	1,719	1,807
(前期比)	35.1%	25.5%	6.8%	▲6.2%	5.1%
総資産	11,217	12,257	12,875	13,590	14,430
純資産	8,615	9,510	10,313	10,935	11,782
1株当たり当期純利益 (EPS)	¥94.81	¥104.63	¥111.27	¥101.89	¥111.59
1株当たり純資産 (BPS)	¥745.35	¥819.07	¥886.45	¥945.72	¥1,016.35
1株当たり年間配当金	¥25.00	¥40.00	¥43.00	¥43.50	¥45.00
配当性向	26.4%	38.2%	38.6%	42.7%	40.3%
自己資本比率	76.8%	77.6%	80.1%	80.5%	81.6%
自己資本利益率 (ROE)	11.2%	13.4%	13.1%	11.1%	11.4%
総資産経常利益率 (ROA)	12.7%	14.6%	14.7%	13.1%	13.0%
期末社員数 (名)	869	890	891	930	944

※2021年3月期の1株当たり数値は、2020年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行った影響を調整しております。

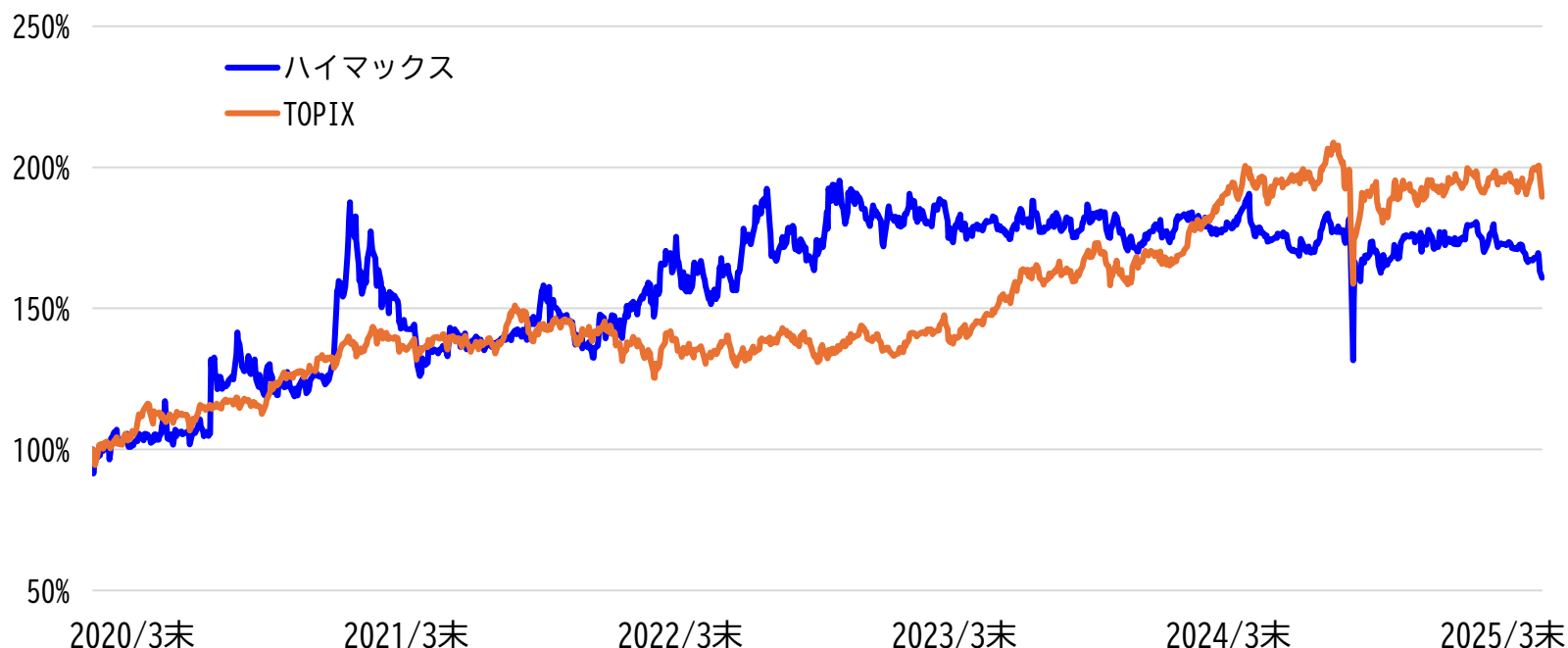
株価及び株主総利回り（TSR）の状況

■ TSR

保有期間※	1年間	3年間	5年間
ハイマックス	92.2%	109.1%	185.7%
TOPIX	96.0%	136.6%	189.5%

※2025年3月末の終値を基準としています。

■ TOPIXとの株価パフォーマンス比較(2020年3月末終値を100%とした株価推移)



※当社は、2020年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を、また、2021年3月1日付で普通株式1株につき0.2株の割合で自己株式の無償割当てを行っております。当社株価の推移等は、これらの影響を考慮しております。

2 中期経営計画『NEXT C⁴』の状況 (2023～2025年度)

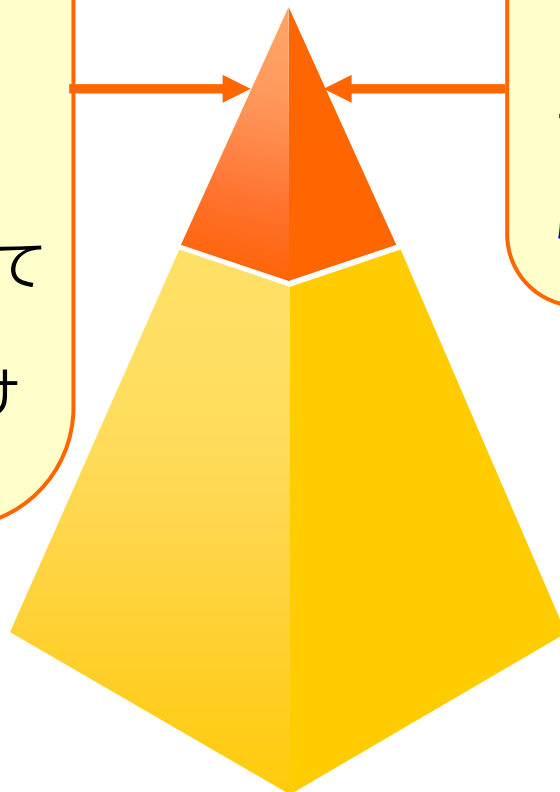
ハイマックスの方向性

【NEXT C⁴のビジョン】

ハイマックスは
ソフトウェア技術
・デジタル技術をお客様へ提供し、
ベスト・パートナーとして
お客様とともに
持続的未來の実現に向け
成長します。

【目指す企業像】

デジタル技術を核とし、
実装能力に裏打ちされた
技術力を
恒常的に提供できる企業



中期経営計画『NEXT C⁴』の概要

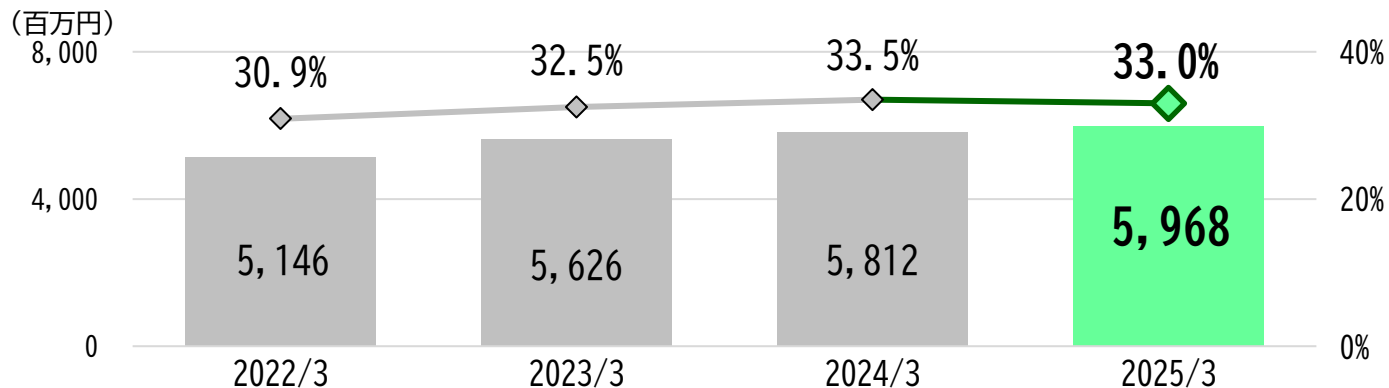
◆ NEXT C⁴の基本戦略

- ① 主力の受託開発事業(コアビジネス)の拡大
⇒ **非金融分野比率／エンドユーザー取引比率 (30%)** 維持
- ② デジタル技術を核としたDX案件の積極的受注
⇒ **DX案件売上高比率 (20% ⇒ 25%)**
- ③ 人的資本への投資を継続実施
⇒ DX技術案件を専門的に取り扱う部門を設置
当該部門にて、DX技術者 **30%** 増員
DX技術系の資格保有数 **90%** 増
⇒ 全社施策としてPL人数 **20%** 増員
- ④ 開発人員の増強
- ⑤ 更なる事業拡大に寄与する業務・資本提携やM&Aの遂行

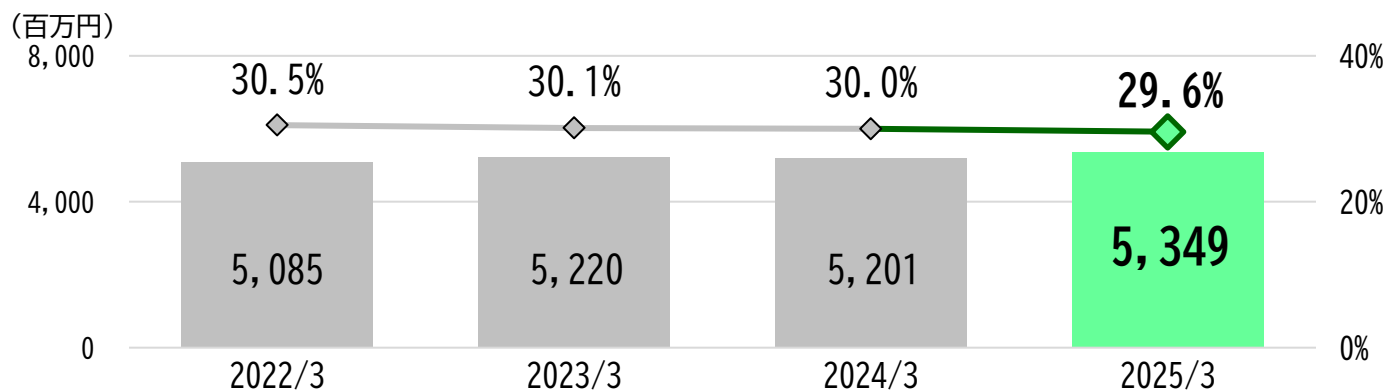
当期の取り組み

① 主力の受託開発事業(コアビジネス)の拡大

✓ 非金融向け売上高 及び 構成比率の推移



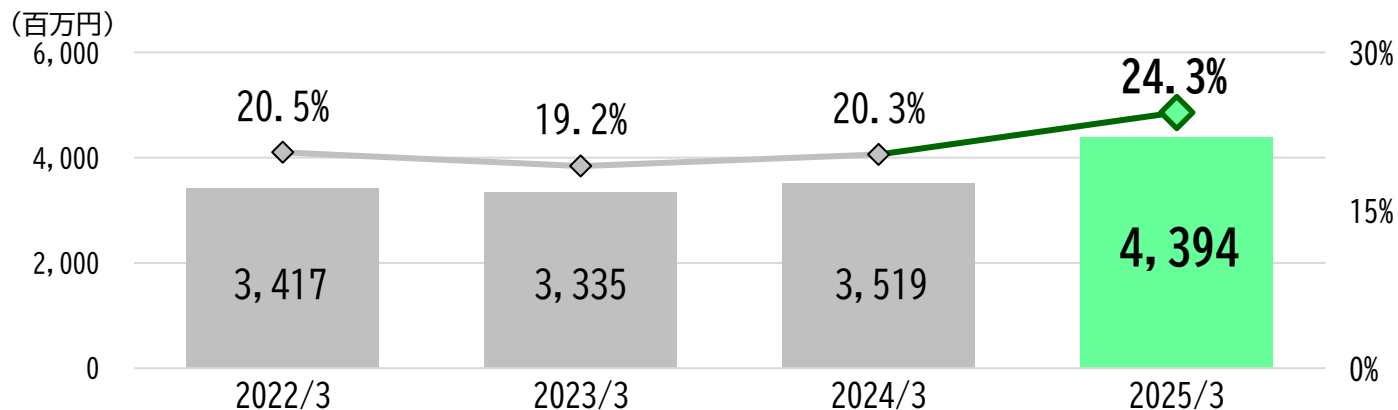
✓ エンドユーザー向け売上高 及び 構成比率の推移



当期の取り組み

② デジタル技術を核としたDX案件の積極的受注

✓ DX案件向け売上高 及び 構成比率の推移



2025/3期

売上高 4,394百万円

売上高構成比 24.3%

受注残高増減率 +30.8%

当期の取り組み

③ 生成A Iを活用した『ジシャナビ』（自社サービス）を展開

✓ 社内業務のDX化

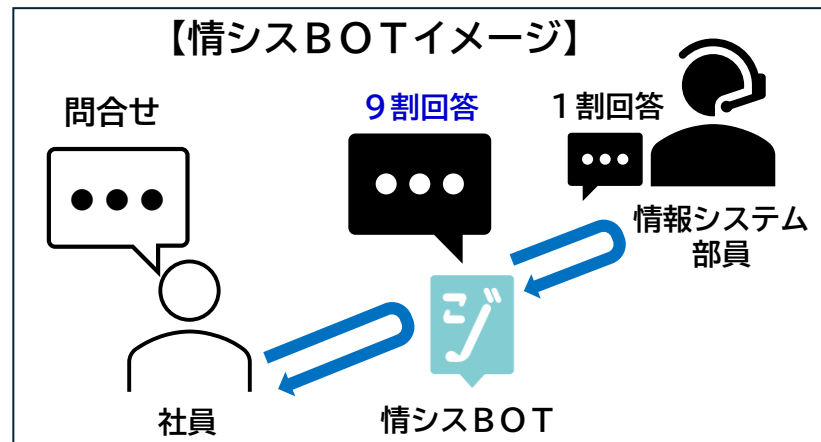
社員からの社内システム・機器に関する問い合わせを
情報システム部員に代わり、
ジシャナビを組込んだ『情シスBOT』で対応

⇒直近5ヶ月間の1,564件の問合せの内、
9割超が『情シスBOT』で**完結**

※1割回答分に関しても、「情シスBOT」が学習する為、
以降同様の問合せが来た場合、「情シスBOT」で完結

⇒全社の**生産性向上**に繋がる

⇒今後、人事、財務部門の業務へ適用予定



✓ システム開発業務のDX化

システム開発の上流工程（企画・要件定義等）のDX化に向け、
『ジシャナビ』の適用を**実証実験中**

⇒生成A Iを使いこなせるA I技術者を計画的に育成

当期の取り組み

④ 人的資本への投資を継続実施

- ✓ 社員の月額給与水準の引き上げ（全社平均7.5%UP）
- ✓ 社内資格表彰制度を充実させ、技術の資格取得を継続推進

D X 関連資格取得数 : **288** 資格 (2025/3末現在、重複取得含む)
+ 31 資格 (2024/3末比較)

資格名称	資格取得者数 (単位:名) ※重複取得含む		
	2024/3末	2025/3末	増減
基本情報技術者	526	540	+14
応用情報技術者	244	240	▲4
ITストラテジスト	3	3	±0
システムアーキテクト	19	19	±0
プロジェクトマネージャ	12	13	+1
ネットワークスペシャリスト	14	15	+1
データベーススペシャリスト	33	34	+1
エンベデッドシステムスペシャリスト	2	2	±0
情報処理安全確保支援士試験	29	30	+1
ITサービスマネージャ	3	3	±0
システム監査技術者	1	1	±0
PMP	26	25	▲1
その他 (バンダー資格含む)	742	774	+32
合計	1,654	1,699	+45

当期の取り組み

～サステナビリティ関連～

✓ EcoVadis : **ブロンズメダル** 2年連続獲得

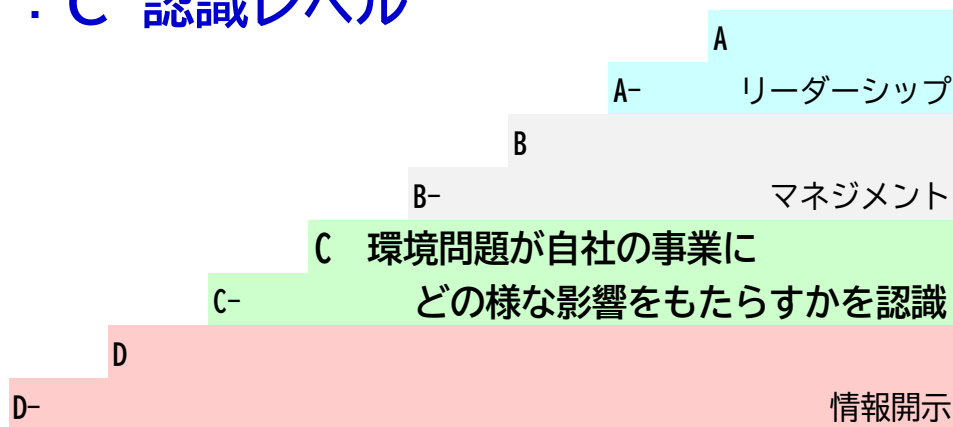


CSR評価

(環境、労働と人権、倫理、持続可能な資材調達)

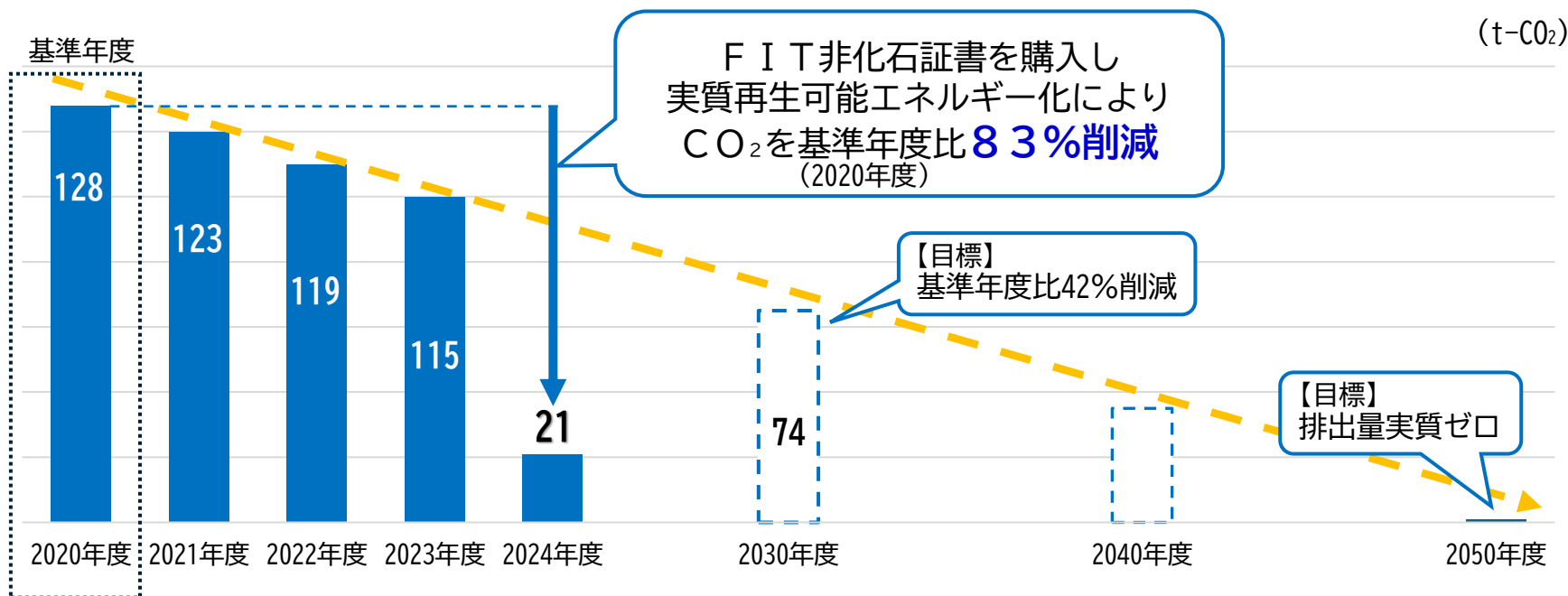
プラチナ メダル	: 上位	1%
ゴールド メダル	: 上位	5%
シルバー メダル	: 上位	15%
ブロンズ メダル	: 上位	35%

✓ CDP2024スコア : **C 認識レベル**



当期の取り組み

～サステナビリティ関連～

✓ CO₂排出量削減：Scope 1 + 2

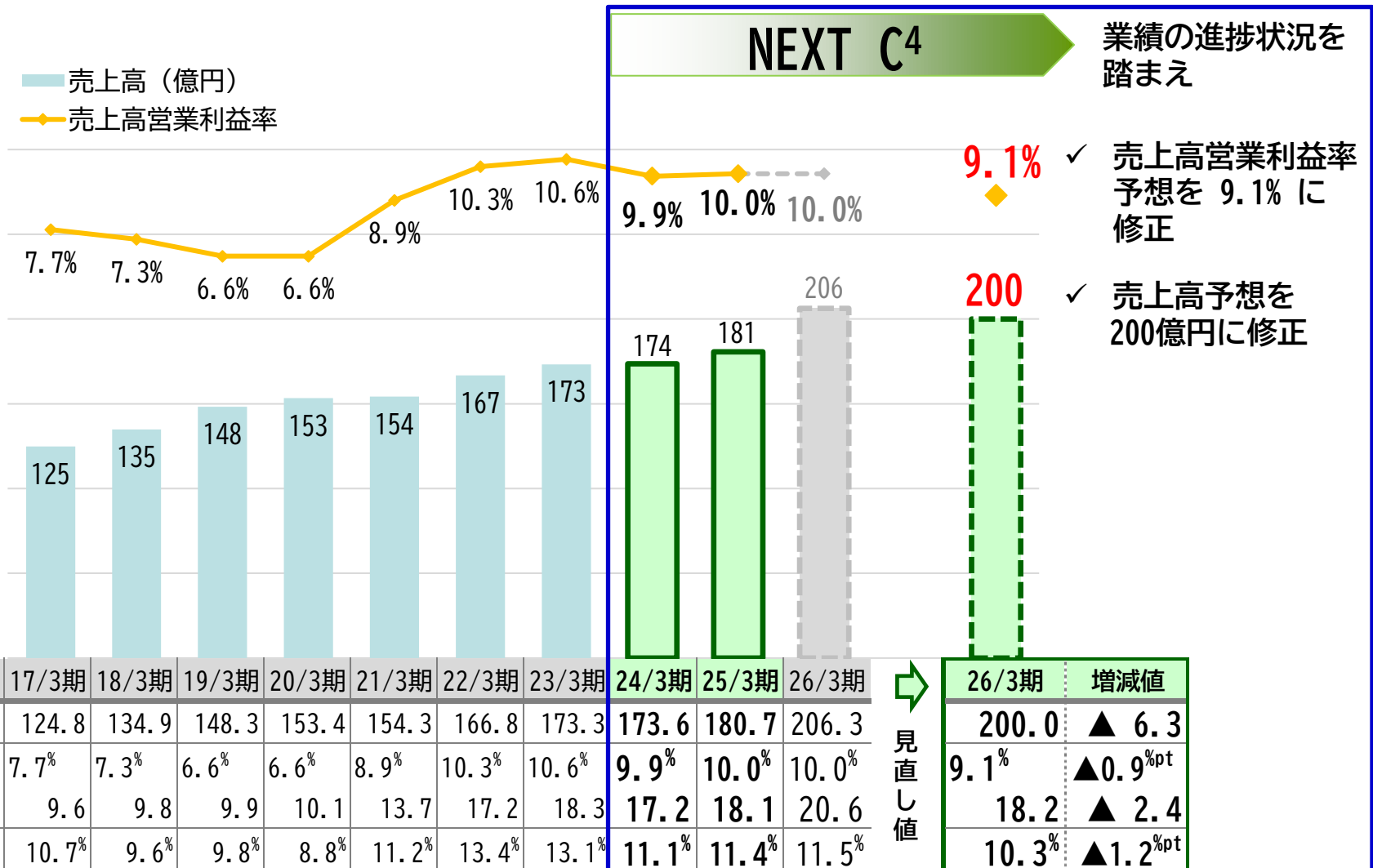
当社グループでは、2023年3月に気候関連財務情報開示タスクフォース（TCFD）提言に賛同し、同提言に基づいて気候変動に関連する事業リスクやビジネス機会について情報開示を行っております。

3 2026年3月期 業績予想（連結）

2026年3月期 業績予想（連結）

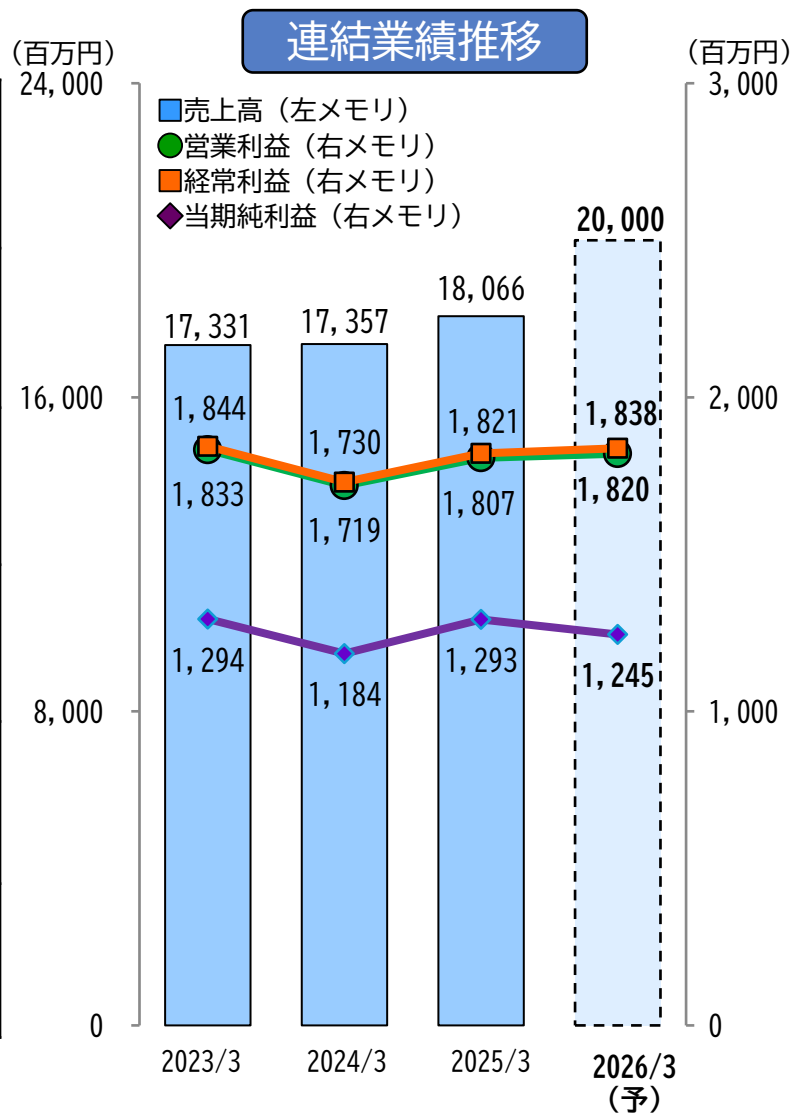
中期経営計画『NEXT C⁴』の業績計画を修正

■ 売上高（億円）
● 売上高営業利益率



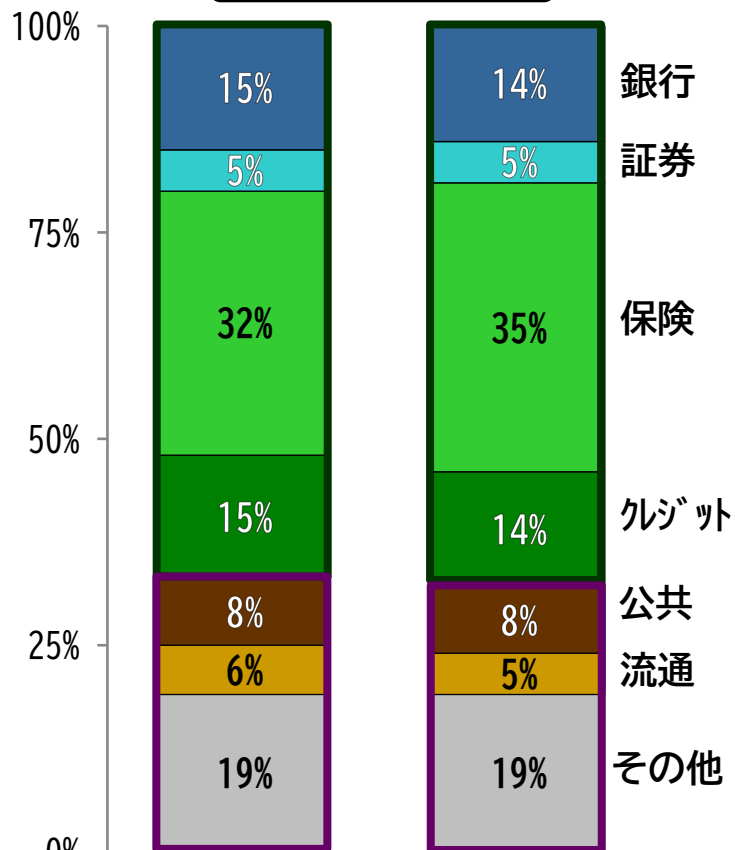
2026年3月期 業績予想 (連結)

	2025/3期 実績	2026/3期 予想	増減率
売上高	18,066	20,000	+10.7%
営業利益 (利益率)	1,807 (10.0%)	1,820 (9.1%)	+0.7%
経常利益 (利益率)	1,821 (10.1%)	1,838 (9.2%)	+0.9%
当期純利益 (利益率)	1,293 (7.2%)	1,245 (6.2%)	▲3.7%
1株当たり 当期純利益	111円59銭	107円40銭	—



各業種別売上高の動向（連結）

構成比の推移



	2025/3	2026/3 (予)
金融	67%	68%
非金融	33%	32%

金融向け構成比 68%

- 銀行：セキュリティ強化及びDX案件の拡大
- 証券：取引所案件の拡大
- 保険：生保の企業向け保険DX再構築案件の拡大
損保のシステム共同化及びDX案件の拡大
- クレジット
：エンドユーザー取引の拡大

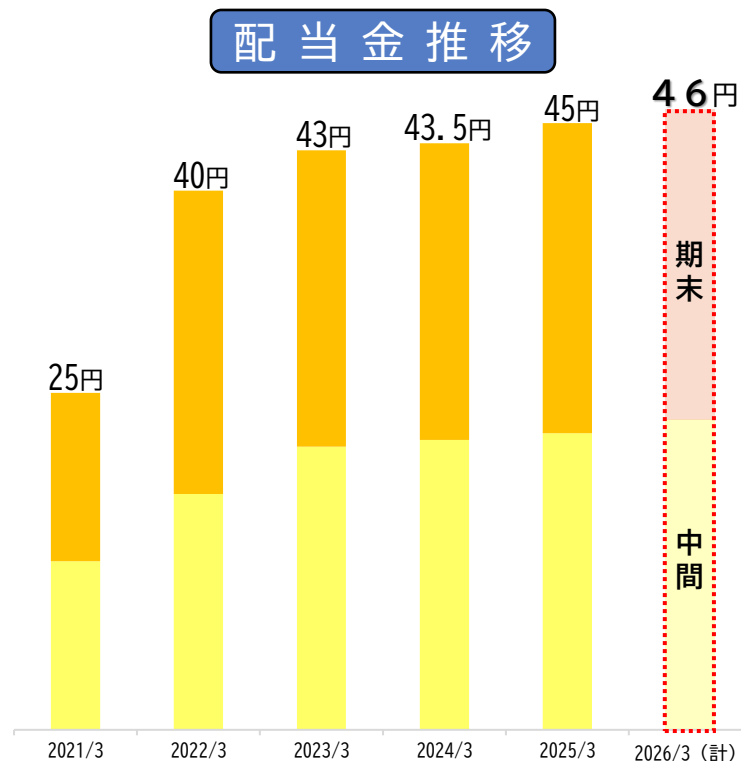
非金融向け構成比 32%

- 公共：新規エンドユーザー（航空系）取引の拡大
- 流通：モダナイズ及びDX案件の拡大
- その他
：新規参入した大手食料品メーカー案件の拡大
新規エンドユーザー（専門商社系）のDX案件の拡大

配当の状況

- 配当の基本方針：安定的かつ適正な利益還元を継続して実施し、連結配当性向40%を目安とする
- 年間配当金：46円(中間・期末各23円)と前期より1円増配(5年連続増配)
(2026年3月期) 配当性向は42.8%となる見込み

	2025/3期	2026/3期 (計画)	増減
中間配当	22円	23円	+1円
期末配当	23円	23円	±0
年間合計	45円	46円	+1円
配当性向	40.3%	42.8%	—

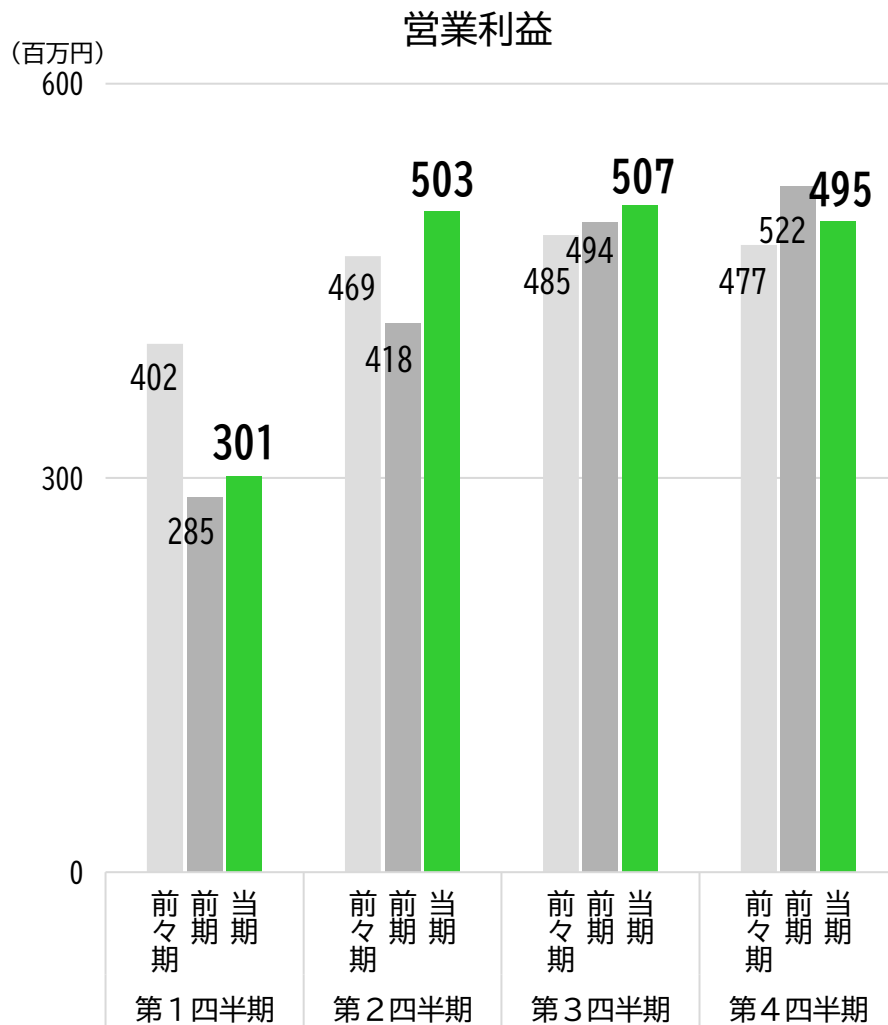
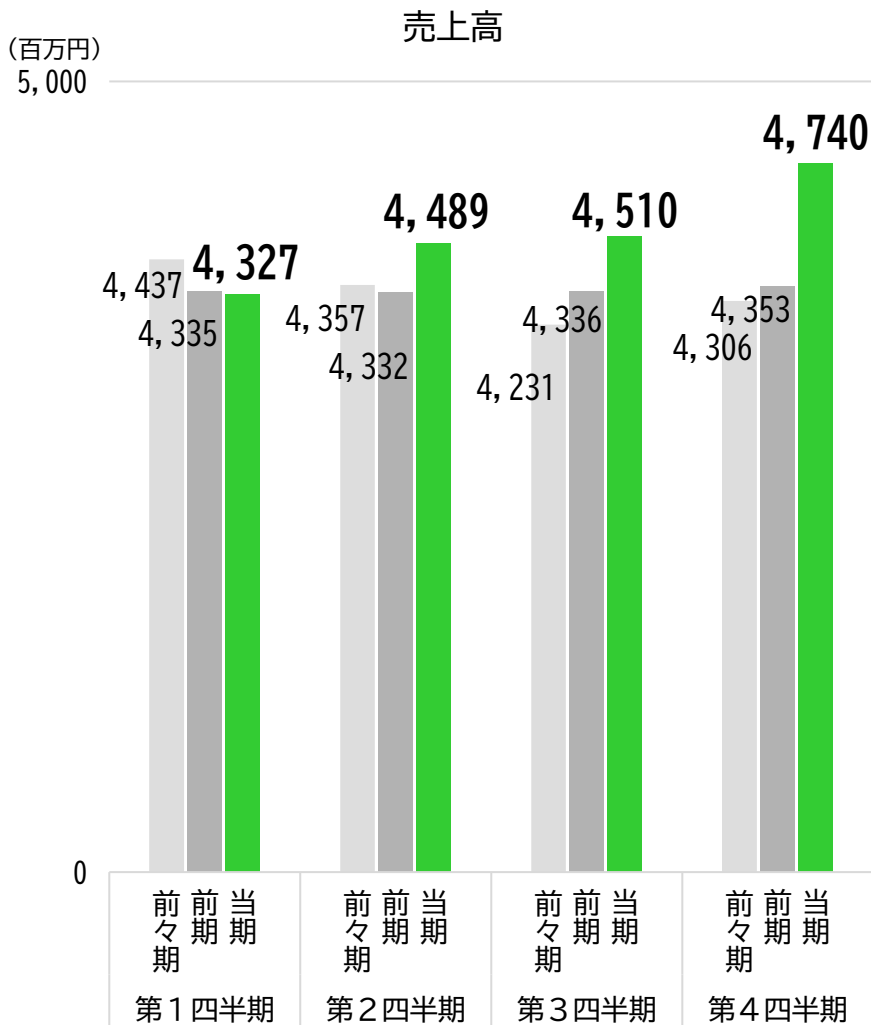


※2021年3月期の配当金は、2020年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行った影響を調整しております。

~Appendix~
(四半期推移)

連結四半期推移 (売上高・営業利益)

■当期：2025年3月期
 ■前期：2024年3月期
 ■前々期：2023年3月期

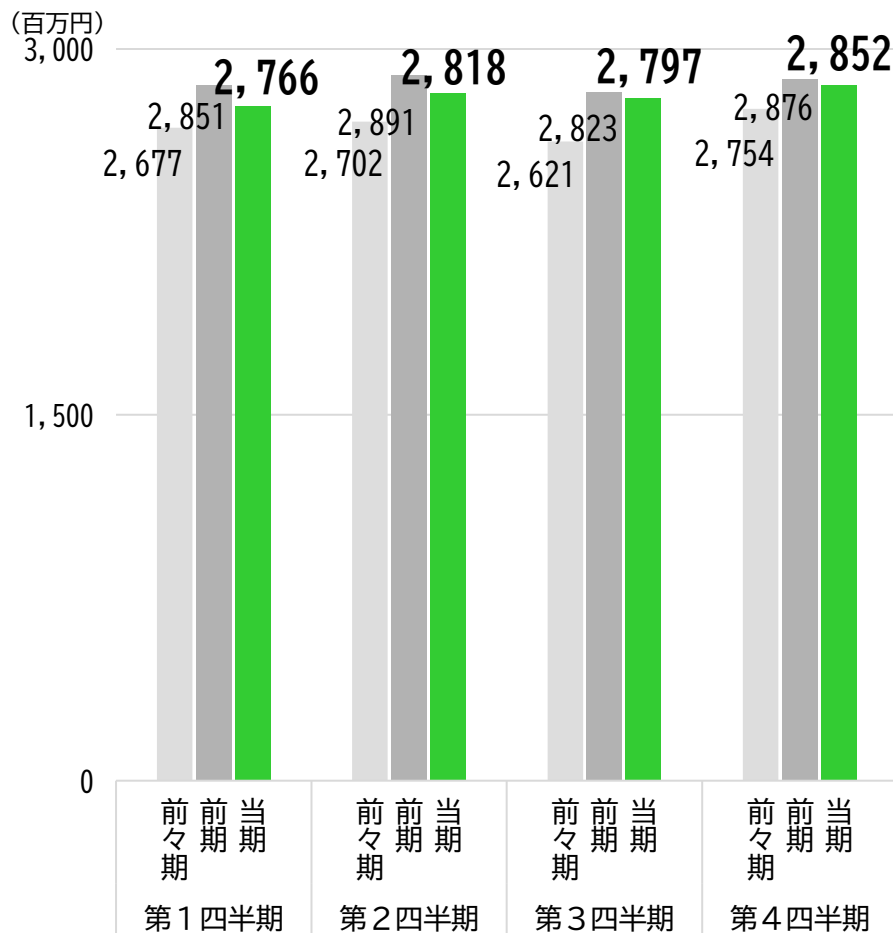
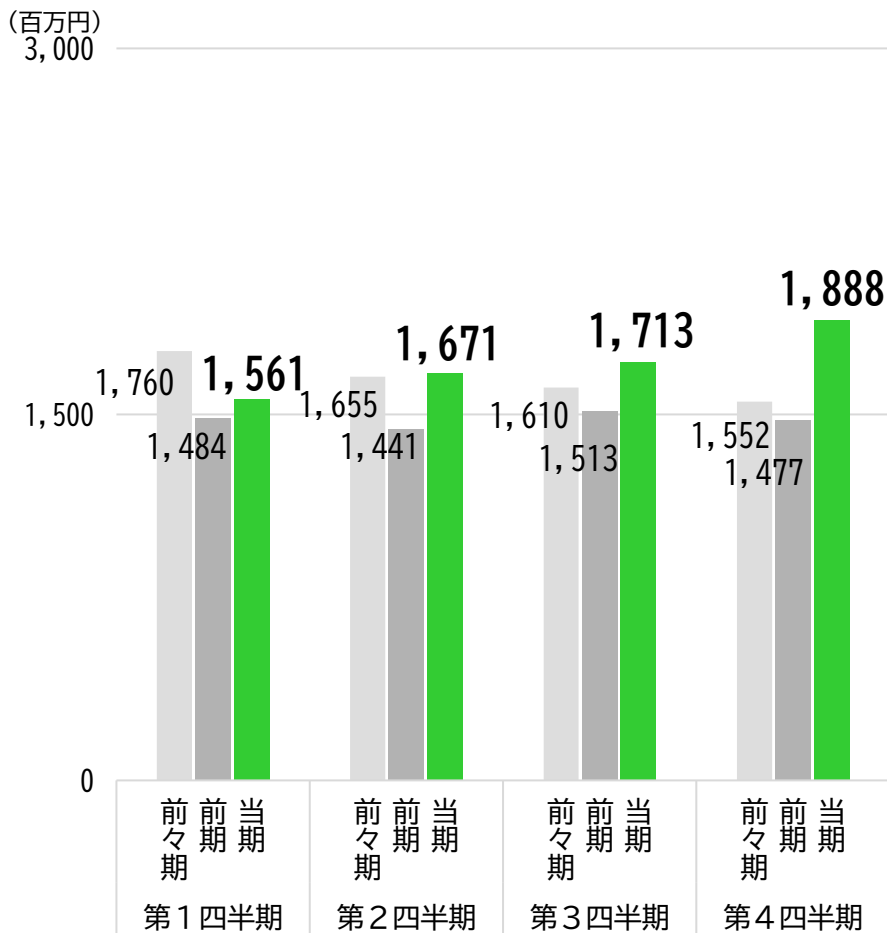


連結四半期推移（サービス分野別売上高）

■当期：2025年3月期
 ■前期：2024年3月期
 ■前々期：2023年3月期

システム・ソリューションサービス (SSS)

システム・メンテナンスサービス (SMS)



連結四半期推移 (業種別売上高)

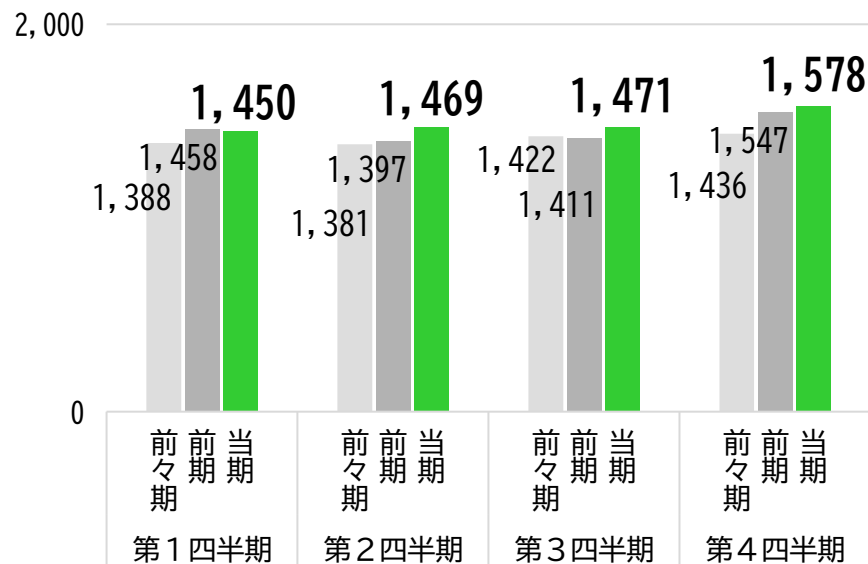
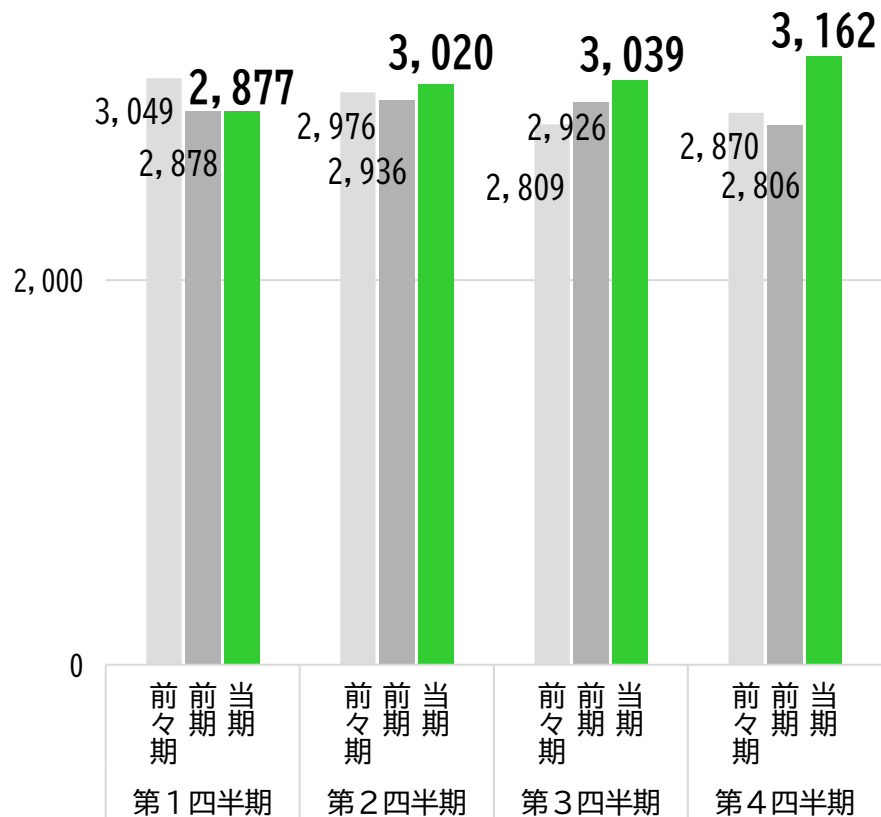
■当期：2025年3月期
 ■前期：2024年3月期
 ■前々期：2023年3月期

金融

非金融

(百万円)
4,000

(百万円)
4,000



連結四半期推移 (顧客別売上高)

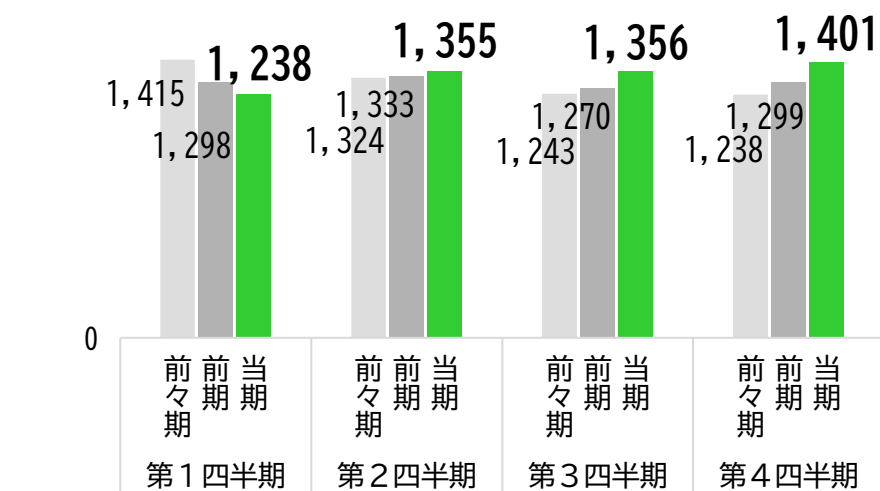
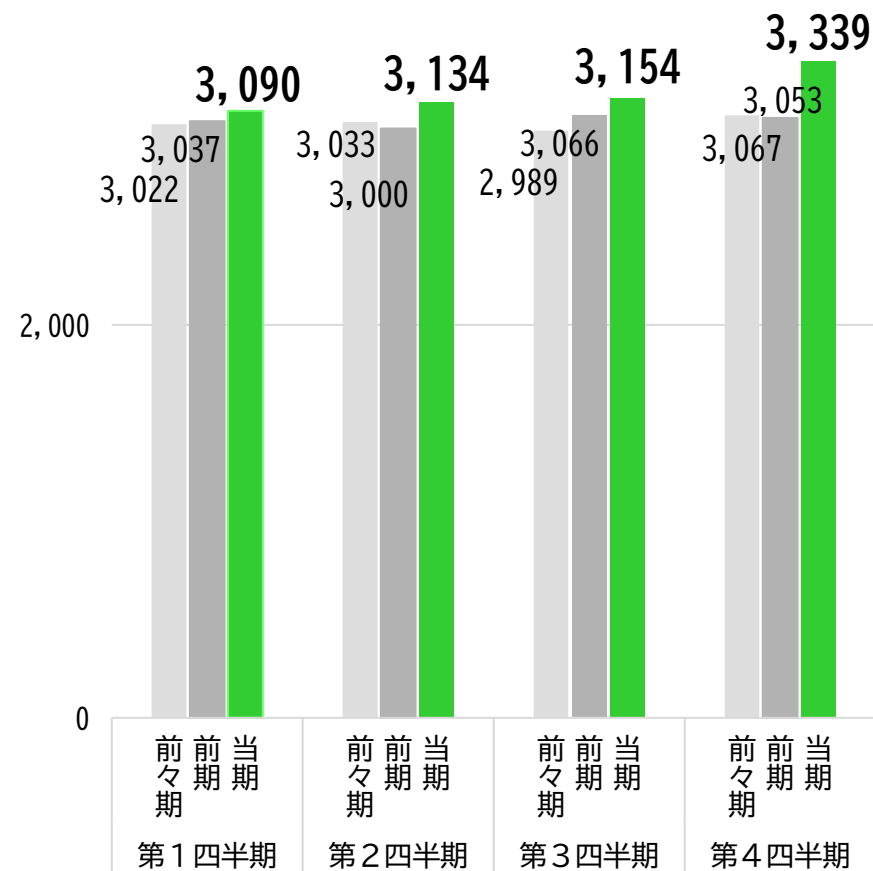
■当期：2025年3月期
 ■前期：2024年3月期
 ■前々期：2023年3月期

S I e r

エンドユーザー

(百万円)
4,000

(百万円)
4,000



連結四半期推移 (コア事業・DX別売上高)

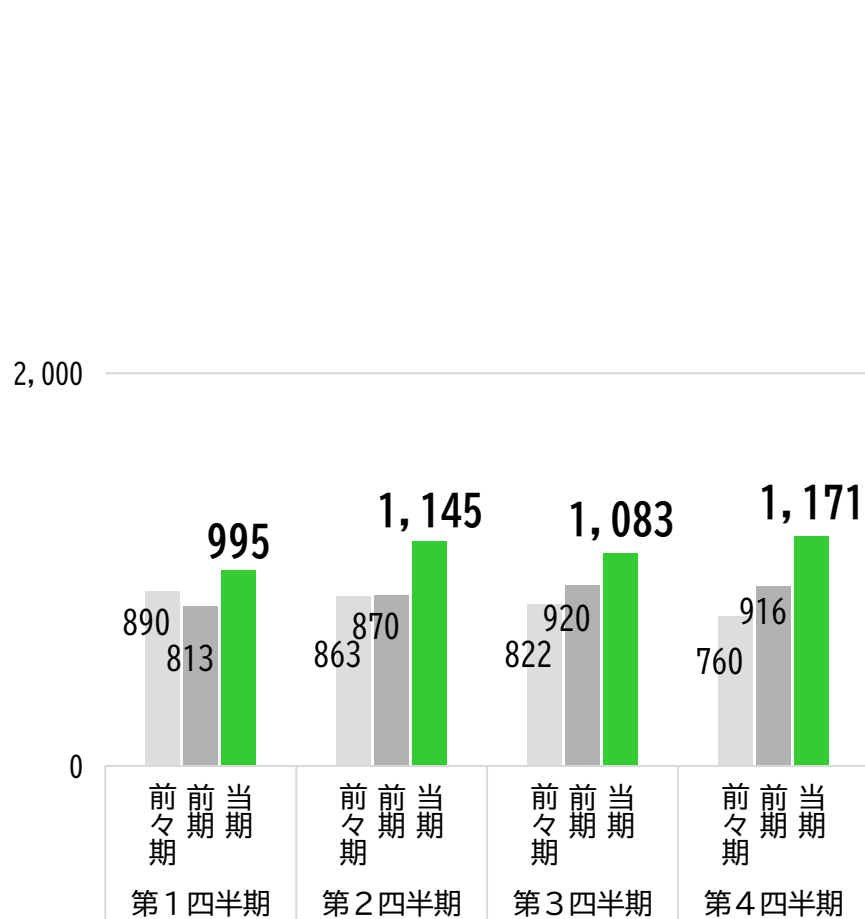
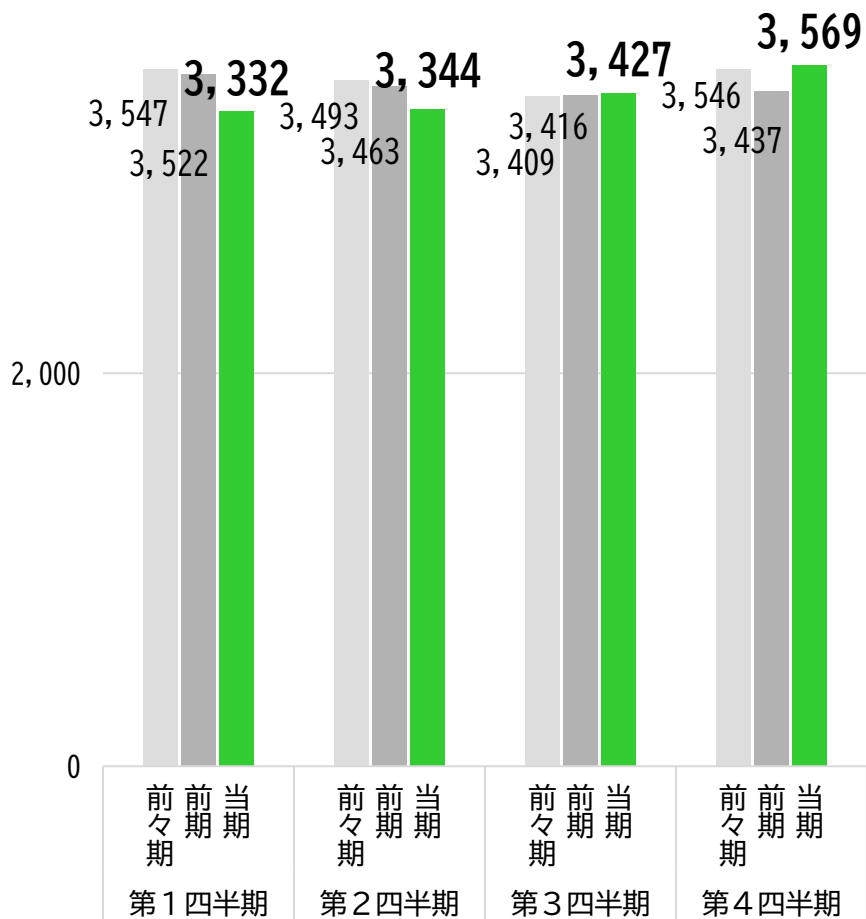
■当期：2025年3月期
 ■前期：2024年3月期
 ■前々期：2023年3月期

コア事業

DX

(百万円)
4,000

(百万円)
4,000

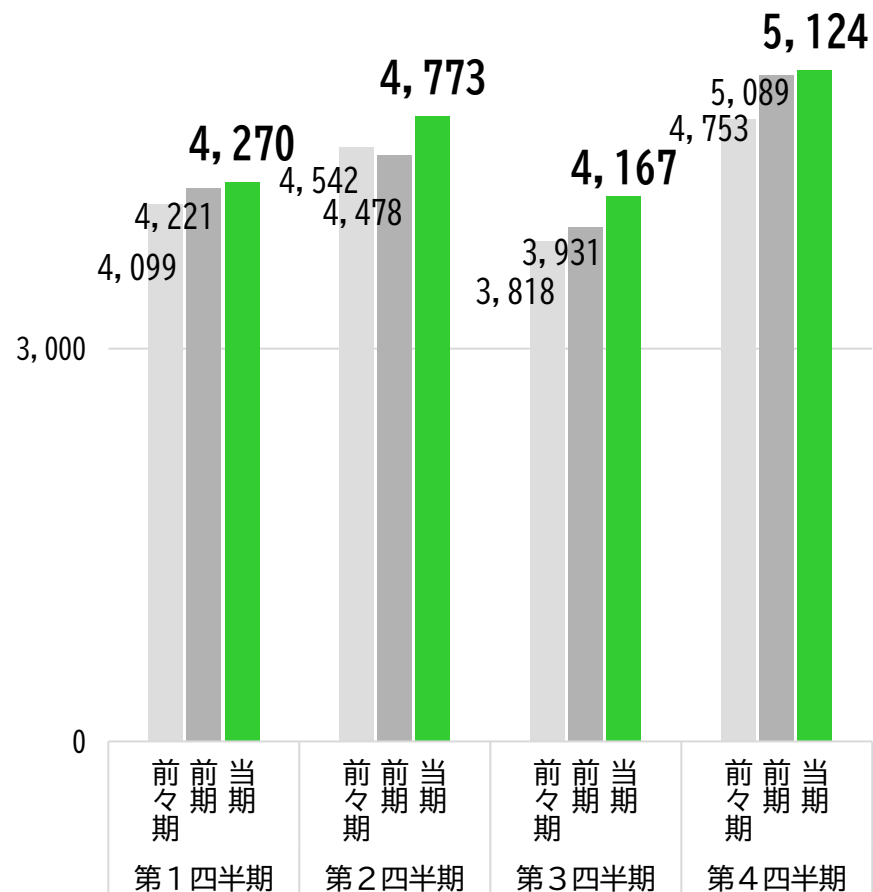


連結四半期推移 (受注高・受注残高)

■当期：2025年3月期
 ■前期：2024年3月期
 ■前々期：2023年3月期

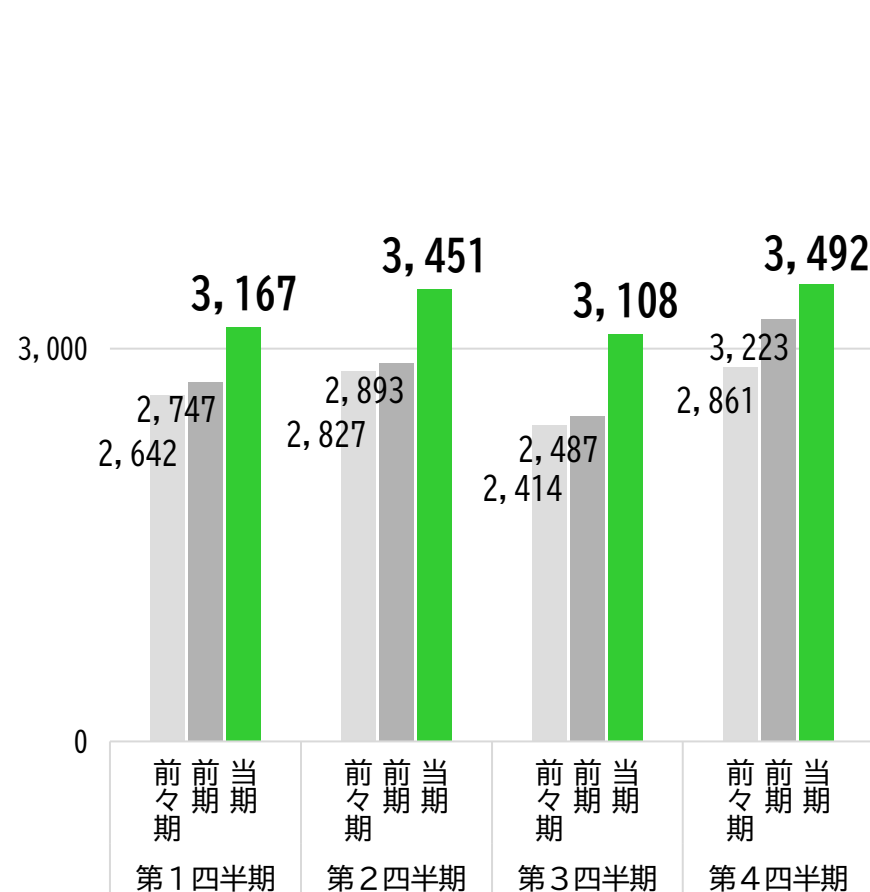
受注高

(百万円)
6,000



受注残高

(百万円)
6,000



2025年3月期 決算説明会

2025年5月13日

株式会社 **ハイマックス**
代表取締役社長 中島 太



本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。

【お問合せ先】 IR室 メール：ir@himacs.co.jp TEL：045-201-6655（代）